

# 院内感染対ニュース

2019年5月22日 第69号  
院内感染対策委員会

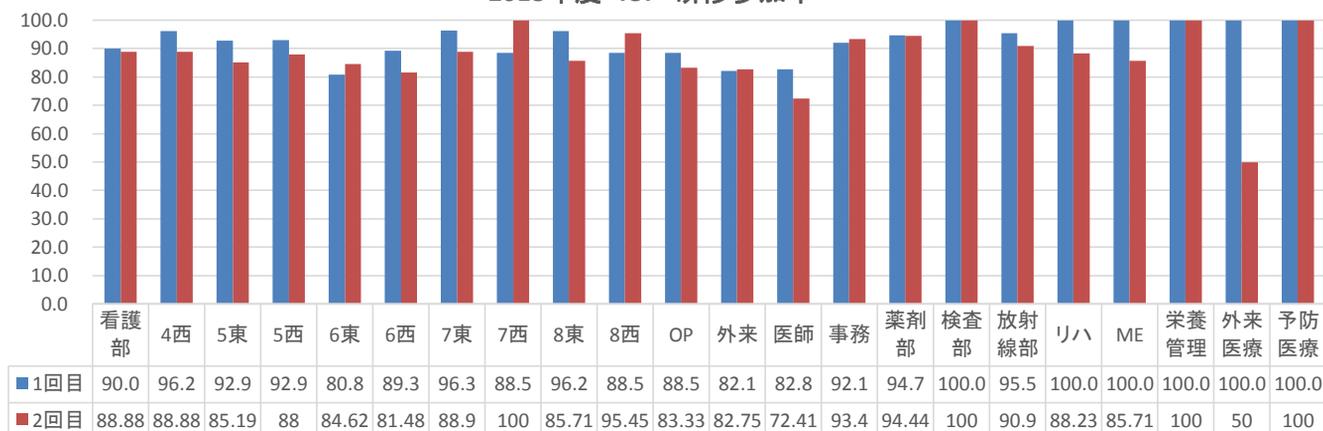
## 2018年度 感染必須研修 参加結果報告

こんにちは。すっかり暖かくなってきました。新しく職員の仲間に加わった方々は環境や仕事に慣れてきたでしょうか？感染管理は診療報酬上、必須研修が年2回の研修が義務付けられています。更に抗菌薬適性使用支援加算でも年2回の必須研修が義務化されています。今回は昨年度実施した研修会の参加結果とテストの解答をお伝えします。

**2018年度 第1回目 ICT・AST研修実施日：7月25日（水） \* 1回目研修はICT・AST合同研修**  
参加者総数：502名 90.6%。実参加者数は265名 47.9% テスト参加は236名 42.7%  
未参加者数は52名、9.4%

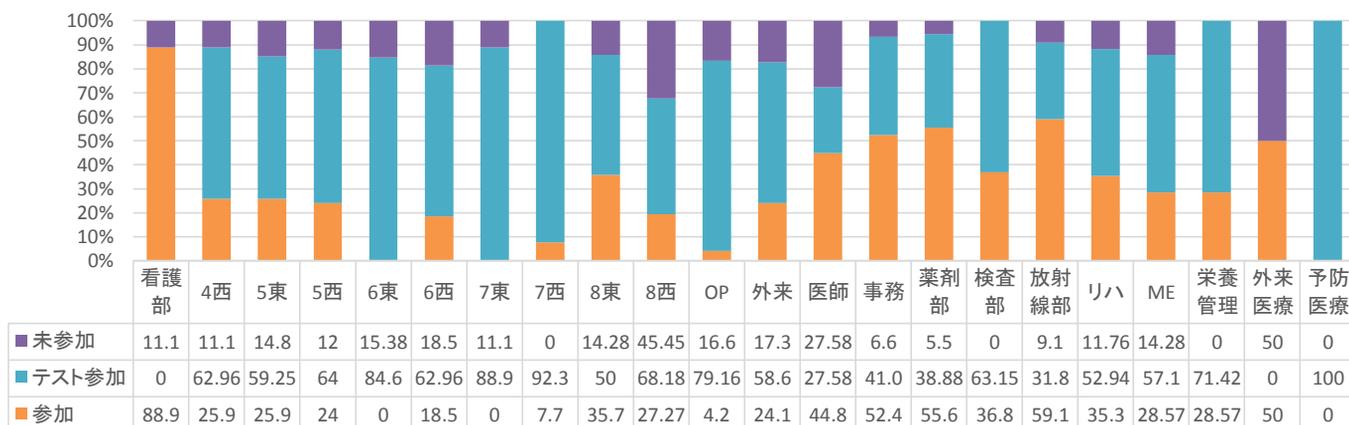
**第2回目 ICT研修実施日：2月27日（水）**  
参加者総数：484名 89% 実参加者数は268名、49.4% テスト参加は216名、39.9%  
未参加者数は58名、10.7%であった。

2018年度 ICT 研修参加率



**2018年度 AST 第2回目 研修実施日：2月27日（水）**  
参加者総数：471名 86.9% 実参加者数は167名、30.8% テスト参加は304名、56.1%。  
未参加者数は71名 13%であった。

2018年度 AST 2回目 参加率



## 2018年度のまとめ

2018年度の第1回目の研修会はICTとASTの合同研修としました。1回目の実参加率は約48%、テスト42.7%でした。2回目はICTではインフルエンザ、ASTでは抗菌薬適正使用に関する内容で同日に研修会を行いました。インフルエンザの研修ではe-ラーニングを取入れ1日3回実施したことで短時間勤務者や嘱託の方も参加しやすくなったのではないかと思います。

反面、AST2回目研修はe-ラーニングではなかったため時間外の3回目の研修会と一緒に行ったので日中に参加した方が未参加となり、参加率が低くなりました。

感染の研修は全職員対象で100%の参加率を求められます。業務の都合で参加できない場合もあるためテストを解答することで参加と見なしていますが、テスト参加がメインではありませんので次回の件数では是非参加してくださいね。

## 2018度実施した研修会の未参加者向けテストの解答です。

### ●2018年度第1回ICT・AST研修

1. AMRとはAntiMicrobial Resistanceの略で薬剤耐性のことを示し、世界的な多剤耐性菌の蔓延を背景として2015年 5月の世界保健機関（WHO）総会でGlobal Action Planが採択された。

**正解 ○**

2. ASTとは、感染症専門の医師や薬剤師、臨床検査技師、看護師が個々の患者に対して主治医が抗菌薬を使用する際、治療効果と有害事象を最適化するための支援を行う抗菌薬適正使用支援チーム（Antimicrobial Stewardship Team : AST）のことである。

**正解 ○**

3. AMR対策とは、医療に使用する抗菌薬の耐性菌を出さないようにするために医療従事者が行うものである。

**不正解 ×**（以下、解説）

AMR対策には、医療で使用する薬剤の他に畜水産や食品及び環境等の広い分野における薬剤の適正使用が求められる。また、医療従事者のみならず患者やその家族、さらには一般の人 も広く取り組んでいく必要がある。

### ●2018年度第2回 AST研修

次の設問に対して、正しいものは「○」、誤っているものは「×」で回答しなさい。

1. 感冒に対しては、抗菌薬投与を行わないことが推奨されている。

**正解 ○**

2. 内服の抗菌薬において、死亡率が高く重篤な皮膚症状を呈する症例が報告されている。

**正解 ○**

3. 抗菌薬のバンコマイシンは血中濃度を測定して投与量を調節する。その採血は、基本的に投与直後に行う。

**不正解 ×** → 投与直前

**2019年度も必須研修2回あります。必ず参加して下さいね!**

### ●2018年度第2回 インフルエンザ研修 \*問題は省略、解答のみ掲載します。

問題1 ② 問題2 ④ 問題3 ④ 問題4 ② 問題5 ④

ちょっとブレイク

## 2018年度の起こった針刺し事故

\*2019年度針刺し事故目標値 15件以下

先月紹介できなかった針刺し事故の詳細もお伝えします。



ポート造設後、医師が縫合、縫合針をはずさなかった。看護師は医師が全ての針を廃棄していると思い、手袋を装着し器械を使用せず、手で器材や廃棄物を片付けた。持針器に縫合針がついていると思わず片づけ中に針が刺さった。

針などの鋭利器材は使用した人が責任を持って片付けましょう

交通外傷の患者が救急搬送され頭部より出血。創洗浄液が口腔内に入った。すぐに含そうした。マスク・ゴーグル未着用だった。

出血などの多い場合はエプロンの着用はされていますがゴーグルやフェイスシールドの使用はまだまだ少ないです。出血がある場合目の保護もして下さいね。

6西病棟と職員専用トイレの前にインスリン針（キャップなし）が落ちていたためごみと思い拾った際に針が刺さった。

なぜ、インスリンの針が廊下に落ちていたのか不明ですが、使用したら必ず廃棄するところを確認して下さい。

新しい元号になり約一月がたちました。季節はもう6月ですね。新人さんもだいぶ職場になれた頃、看護師さんはいよいよ注射や採血が実施できるように研修も終わります。研修でも針の取り扱いが教わりますが十分気を付けて取り扱ってくださいね。